

令和4年第6回大野城市議会 12月定例会一般質問通告

○本会議（3日目）一般質問

令和4年12月13日（火） 午前9時30分（於 議 場）

議員氏名	件 名
松崎 正和	<p>1. 中学校給食について</p> <p>(1) 学校給食法第8条第2項に「学校給食を実施する義務教育諸学校の設置者は、学校給食実施基準に照らして適切な学校給食の実施に努めるものとする」とある。</p> <p>この「学校給食実施基準」は、平成21年の学校給食法改正の折に、文部科学大臣から示されたもので、学校給食を運営するにあたっては極めて重要なものであり、そこには「学校給食は、これを実施する学校においては、当該学校に在学するすべての児童又は生徒に対し実施されるものとする」と定義している。</p> <p>このような法の改正等、時代の流れの中で、全国的にも法律の定めに沿って「中学校全員制給食」に移行する自治体が年々増加している。</p> <p>そのような中、福岡県を見てみると、県下60市町村の内「中学校全員制給食」を実施しているのは、再来年全員制に移行する太宰府市を含め55市町村で、9割を超えている。</p> <p>この現実を市長はどう感じているのかお聞かせいただきたい</p> <p>(2) ランチ給食はアレルギー除去食の対応は出来るのか。又、現在のランチ給食（教職員等を除いた生徒のみの数）・家庭弁当・パンのそれぞれの喫食数は</p> <p>(3) 大野城市では2005年に、弁当を持ってこられない生徒がいるため家庭弁当を補完する業者外注弁当を加えた選択制給食が始まった。</p> <p>それから20年近く経過した今日、社会経済情勢、女性の社会進出による共働き世帯の急増等々、子供をとりまく環境は激変した。</p> <p>この時代の流れに従うべく福岡県はもちろん全国の自治体は、学校給食法などの規定に沿って、中学校給食の制度改正に取り組んできた。</p> <p>そのような中で、なぜ大野城市は20年近く前に始まった、時代の流れに逆らうような選択制給食にこだわるのか理解できない、市長の考えをお聞きしたい</p> <p>(4) 学校給食法の学校給食実施基準に沿って、現在小学校で行われている全員制給食を中学校で実施すれば、選択制給食が抱える問題である、昼食の欠食、現金の持参、栄養の偏り、アレルギー、食事の量の調整、食育の不十分さ、家庭の負担などの問題はほとんど解決できるはずだが、教育長の見解を伺いたい</p>
森 和也	<p>1. 交通安全対策</p> <p>(1) 宝珠踏切付近の交通安全対策について</p> <p>(2) 高架化後の信号機の設置と車両進入車線の変更について</p> <p>(3) 交通安全施設などについて</p>

	<p>2. 学校図書状況</p> <p>(1) 「全国の小中学校1校あたりの図書購入費が2021年度、9年前の2012年度より7万～10万円減り、平均図書購入冊数も100冊程度、少なくなっていることが、全国学校図書館協議会の「学校図書調査」でわかった」と新聞記事にあるが、本市の状況はどうか。学校図書購入費の年度予算の計上額はいくらか</p> <p>(2) 今後の計画があれば、教えていただきたい</p> <p>(3) まどかぴあ図書館と小中学校図書館の連携はあるか。また、大野城市、粕屋町、志免町、新宮町で広域利用する電子図書館の導入を進めていると聞いているが、小中学生は電子図書の閲覧ができるのか</p>
<p>平田 不二香</p>	<p>1. デジタル化推進による市民サービス向上について</p> <p>(1) マイナンバーカードの普及について</p> <p>(2) マイナポイント事業について</p> <p>2. 市民生活の安心・安全の確保に向けて</p> <p>(1) 本市は、西鉄高架化後も新駅舎と周辺の工事、沿線の新築マンション建設、東地区の宅地造成など、新しいまちづくりが進んでいるが、市民生活の安心・安全の確保に向けてどのように取り組んでいるか</p>
<p>岡部 かおり</p>	<p>1. 3歳児健診について</p> <p>(1) 本市で行われている3歳児健診の受診率について伺う</p> <p>(2) 未受診の方にはどのようにアプローチを行っているか伺う</p> <p>(3) 健診の日時が限定されているため、共働き家庭は予定を合わせるのが大変とのことで、健診の日時を柔軟に対応する為に、半年に1度休日に健診を実施することができないか伺う</p> <p>(4) 3歳児健診で、支援が必要とされる家庭の件数はどのくらいか伺う</p> <p>2. 子ども療育事業について</p> <p>(1) 子ども療育支援センターについて</p> <p>(2) ひとりの子どもが、支援を受けることができるようになるためには、どのような手続きが必要でどのくらいの時間を要するか伺う</p> <p>(3) 子ども療育支援センターの利用および支援サービスを受けるまでに時間がかかるとのことだが、本市における療育支援の現状と課題についてどのような改善策を考えているか伺う</p> <p>(4) 3歳児健診において発達障がい早期発見し早期療育支援へと繋いだ後、子どもが成長していくにつれての連携や、適切な移行は、どのように行っているか伺う</p>
<p>福澤 信光</p>	<p>1. 学校給食におけるアレルギーの対応は</p> <p>(1) 現在、本市の小中学生で食物アレルギーのある児童はどの位いるのか</p> <p>(2) 食物アレルギーのある児童の把握はどのように行っているのか</p> <p>(3) 第6次大野城市総合計画の中で、保健衛生・給食・就学援助の充実の主な取り組みには食物アレルギーに関する見当たらないが、市として、食物アレルギーのある児童に対し、どのような対応をしているのか</p>

	<p>(4) 大野城市小学校給食の食物アレルギー対応方針では、品目に応じて除去食や代替食の対応となっていると思うが、食物アレルギーのある児童の配膳は誰がどのようにするのか</p> <p>(5) 9月議会の補正予算において、コロナ禍における原油価格及び物価高騰等に対する支援策として、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、保育所等の給食費に対する補助金を約2,300万円追加したが、食物アレルギーのある子供たちの世帯への支援も含まれているのか</p> <p>(6) 6月の一般質問でも述べたように、大野城市として市民の皆さんに対して平等であることが重要だと考える。少しでも各家庭の負担が減るような施策を考える必要があると思うがどう考えるか</p>
渡邊 知之	<p>1. eスポーツの活用について</p> <p>(1) 現在、多くの自治体がeスポーツを活用した地域振興を始めているが、本市はどのような認識をもっているか</p> <p>(2) 年齢や障がいの有無に関係なく、全ての人を楽しめるスポーツであるeスポーツを活用した施策を行うべきと思うがいかがか</p> <p>2. 待機児童の解消対策について</p> <p>(1) 現在、本市の待機児童数はどのくらいか。また、4つのコミュニティ別の人数はどのくらいか</p> <p>(2) 保育士の応援のために本市で実施している「大野城市保育士転入助成事業補助金」及び「大野城市保育士家賃助成事業補助金」について伺う</p>
河村 康之	<p>1. 街頭防犯カメラの設置と推進について</p> <p>(1) 本市における街頭防犯カメラの設置状況について</p> <p>(2) 街頭防犯カメラの設置時の補助制度について</p>
田中 健一	<p>1. 次の市政50年への組織体制の戦略について</p> <p>(1) 基本構想・基本計画・実施計画・年次計画の関係性について</p> <p>(2) 年度全体の業務量の把握と事務分掌・人事配置・予算の配分との関係性について</p> <p>(3) 次の市政50年に向けての自治体経営戦略における組織体制について</p> <p>(4) 職員採用の考え方について</p> <p>(5) 職員の資質の向上について</p> <p>(6) 働き方改革を取り入れた職場の連携や風通しの良い職場環境作りについて</p>
中村 真一	<p>1. 望ましい中学校給食のあり方について</p> <p>(1) ランチ給食サービスを選択した経緯について</p> <p>(2) 大野城市の中学校の時制と全生徒を対象とした食缶方式の完全給食を実施している近隣自治体の中学校の時制について</p> <p>(3) ランチ給食サービスにおけるアレルギーのある生徒への対応はどのように行っているか</p> <p>(4) 生徒等に対して行ったアンケート結果と市民への周知について</p>

○本会議（4日目）一般質問

令和4年12月14日（水） 午前9時30分（於 議 場）

議員氏名	件 名
原田 真光	1. 安全で快適な自転車の利活用に向けた施策について (1) 自転車安全利用五則について (2) 自転車の利活用について (3) 自転車の利用環境について
松田 美由紀	1. 不登校児童生徒への学びの保障について (1) ICT 機器の有効活用について 2. 市民公益活動促進プラットフォーム及び介護予防ボランティア・健康づくりインセンティブ事業について (1) 市民公益活動促進プラットフォームについて (2) 介護予防ボランティアについて (3) 健康づくりインセンティブ事業について
大塚 みどり	1. 市民の健康支援について (1) コロナ禍に伴い、加齢やストレスによる免疫力の低下が要因で带状疱疹を発症する人が増加している。そうした中、带状疱疹ワクチン接種に公費助成を行う自治体も出ている現況について、井本市長の考えを伺う (2) 日本では、80歳までに約3人に1人は带状疱疹に罹患するといわれている。本市の带状疱疹罹患者数とワクチン接種者数を伺う (3) 带状疱疹ワクチンの効果、接種の必要性について本市の考えを伺う (4) 带状疱疹の予防で重要なワクチンは、50歳以上を対象に任意接種となっている。带状疱疹ワクチンの周知と接種の推進はなされているのか伺う (5) 带状疱疹ワクチンには、水痘ワクチンと同じ生ワクチン（1回接種）と不活化ワクチン（2回接種）の2種類がある。不活化ワクチンの方が発症予防効果が高いとされるが、費用は1回2万円程度で、1回8千円程度の生ワクチンに比べて高額である。近隣では太宰府市が令和4年4月から予防接種費用の一部助成を実施している。本市は、带状疱疹予防接種の助成導入の考えがあるか、伺う
井福 大昌	1. 西鉄高架下活用の進捗は (1) 高架下活用の現在の進捗を過去の質問の答弁をふまえてお聞きします 2. 福岡県が進めているワンヘルスについて (1) 人と動物と自然の命と健康を一体的に守りながら未知のウイルスなどの感染症を防いでいくワンヘルスの取り組みについて
松崎 百合子	1. 住民の権利を守る個人情報保護条例の堅持について (1) 市は、個人情報保護条例を廃止し、「（仮称）大野城市個人情報の保護に関する法律施行条例」を制定するとの骨子案を出し、パブリックコメントを実施したが、結果はどうか

- (2) 2021年5月個人情報保護法が改正され、自治体の個人情報保護条例の今年度中の国基準への標準化を求めた。
本年4月に国の個人情報保護委員会が公表したガイドラインでは、「官民や地域の枠を超えたデータの利活用」をするためと、自治体の個人情報保護条例の規定を「許容されない」と否定し、条例を廃止し「法律施行条例」を制定するように迫っている。
条例を制約する個人情報保護委員会の姿勢は、地方自治の本旨に反し立法府の意思を軽視するものであり、住民の信頼と地方自治を危うくするものとする。市の考えはどうかか
- (3) 新条例の名称について、「現行条例の理念（個人の基本的人権の擁護）を尊重し法令の範囲で受け継ぐ」という骨子案における本市の考え方から言っても、「法律施行条例」ではなく「個人情報保護条例」とすることが必要と考える。市の考えはどうかか
- (4) 現行条例 第1条（目的）の自己情報の開示、訂正を求める権利、個人情報の適正な取り扱い、及び市民の基本的人権を擁護する規定は引き続き明記されることが必要と考える。市の考えはどうかか
- (5) 「個人情報保護審議会」について、有識者や住民が行政をチェックする意義を確認し、今後も十分機能するために同審議会の役割を条例に規定することが必要と考える。市の考えはどうかか
- (6) 個人情報の外部提供など、従来審議会に諮問してきた重要な事柄について、今後も審議会に報告し、審議会委員が必要と判断した際は、審議会が自発的に行う調査・審議・意見陳述ができるように条例に明記することが必要と考える。市の考えはどうかか
- (7) 個人情報は本人から収集するよう努める責務を負うことや、現在審議会に諮っている例外的な本人外からの取得については、審議会に報告し、審議会により調査・審議・意見陳述ができることを条例に規定することが必要と考える。市の考えはどうかか
- (8) 要配慮個人情報は、できる限り収集しないよう努める責務を負うことや、その扱いについて安全管理措置を整備すること、また個人情報保護法令の規定にない性的指向など不当な差別・偏見の原因となるおそれがある個人情報について、積極的に「条例要配慮個人情報」として条例に規定し、管理に万全を期すことが必要と考える。市の考えはどうかか
- (9) 1000人未満も含めて個人情報ファイル簿を作成及び公表する骨子案の市の方針は評価できる。あわせて、目的外利用や外部提供が担当部署だけの判断で行われないよう、個人情報保護担当部署への報告を義務づけ、審議会に報告することが必要と考える。市の考えはどうかか
- (10) 住民情報のオンライン結合について、デジタル化の進展により新たな漏洩やシステムの障害、プライバシー侵害などが起きる可能性を考慮し、審議会や専門家による検証を積極的に求めリスクの最小化に努めるとともに、必要に応じて結合先に対する調査や要請を行うことを条例に規定することが必要と考える。市の考えはどうかか
- (11) 審議会への諮問や報告事項に関しては、公表を原則とすることが必要と考える。市の考えはどうかか
- (12) 本人以外の代理人による開示・訂正等請求にあたっては、DVや虐待の場合など開示請求制度の悪用を防止するため、必要に応じて本人の意思確認を行うことを条例に規定することが必要と考える。市の考えはどうかか
- (13) 死者に関する個人情報についても保護と適正管理が必要と考える

	<p>が、現状と市の考えはいかがか</p> <p>(14) 行政機関等匿名加工情報の提供制度導入にあたっては、判断基準を審議会に諮問して作成し、提案内容を公表し、公益性について慎重に検討することが必要と考える。市の考えはいかがか</p>
神田 徳良	<p>1. 誇れるまち、魅力あふれるまち大野城について</p> <p>(1) 高齢者等の為のベンチ設置について</p> <p>(2) 市外からの観光客について</p> <p>(3) 大野城検定について</p>
平井 信太郎	<p>1. スポーツ公園実現に向けての整備について</p> <p>(1) 牛頸ごみ処理場跡地の有効利用について</p> <p>(2) 大野城太宰府環境施設組合について</p> <p>(3) 大野城太宰府環境施設組合の今後について</p> <p>(4) 焼却場跡地の有効利用について</p>
関井 利夫	<p>1. 市内案内や誘導のサイン計画、設置について</p> <p>(1) 案内や誘導等に係るサインの設置について、計画があると思うが、計画の所管課と現物の設置・管理を行う所管課との連携などについて</p> <p>(2) 大野ジョー君を利用した迷惑行為防止の啓発看板の設置場所等について</p> <p>(3) J R大野城駅における市内の施設への案内の在り方について</p> <p>(4) これから整備される施設への案内やサインの作成について</p>